



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 タカラバイオ株式会社
 コード番号 4974 URL http://www.takara-bio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲尾 功一
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松崎 修一郎 TEL 077-565-6970
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,650	△2.2	2,251	45.8	2,200	41.1	1,591	54.2
2019年3月期第1四半期	8,847	39.2	1,544	487.8	1,559	442.0	1,032	ー

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,778百万円 (-%) 2019年3月期第1四半期 △495百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	13.22	ー
2019年3月期第1四半期	8.57	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	71,402	65,154	91.1	540.31
2019年3月期	71,040	64,095	90.1	531.57

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 65,061百万円 2019年3月期 64,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	0.00	ー	7.00	7.00
2020年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2020年3月期 (予想)	ー	0.00	ー	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	17,129	△1.4	2,917	11.2	3,001	12.4	1,950	13.3	16.20
通期	36,000	0.4	6,200	13.5	6,450	13.9	4,250	16.2	35.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名） 、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表および主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	120,415,600株	2019年3月期	120,415,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	-株	2019年3月期	-株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	120,415,600株	2019年3月期1Q	120,415,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	11
(1) 経営管理上重要な指標の推移	11
(2) 連結比較損益計算書	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産が弱含み、景気に足踏み感がみられたことに加え、米中の貿易摩擦の長期化や地政学的リスクの高まり等の影響により、依然として、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、2018年3月期よりスタートした3ヵ年の中期経営計画「タカラバイオ中期経営計画2019」の最終年度を迎え、その全体方針に掲げる「グローバル企業かつ再生医療等製品企業としてのプレゼンスを向上させ、飛躍的な成長を目指す」ための取り組みを推進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬と受託サービスが前年同期比で増加いたしました。理化学機器が前年同期比で減少したこと、また前連結会計年度において、医食品バイオセグメント内の健康食品およびキノコにかかる両事業を譲渡した影響により、8,650百万円(前年同期比97.8%)と減収となりました。売上原価は、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、2,734百万円(前年同期比78.3%)となり、売上総利益は、5,916百万円(前年同期比110.5%)となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等が減少し、3,664百万円(前年同期比96.2%)となり、営業利益は、2,251百万円(前年同期比145.8%)と増益となりました。

営業利益の増益にともない、経常利益は、2,200百万円(前年同期比141.1%)、税金等調整前四半期純利益は、2,191百万円(前年同期比141.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,591百万円(前年同期比154.2%)と増益となりました。

事業セグメント別の状況は、次のとおりであります。

[バイオ産業支援]

バイオテクノロジー関連分野の研究開発活動がますます広がりを見せるなか、当社グループは、こうした研究開発活動を支援する製品・商品やサービスを中心に展開する当事業をコアビジネスと位置づけております。

当第1四半期連結累計期間は、理化学機器の売上高が前年同期比で減少いたしました。研究用試薬と受託サービスの売上高が前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は、6,746百万円(前年同期比103.5%)と増収となり、売上総利益は、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、4,204百万円(前年同期比118.8%)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費等の増加により2,873百万円(前年同期比100.8%)となりました。営業利益は、1,331百万円(前年同期比193.2%)と増益となりました。

[遺伝子医療]

当事業では、がん等の疾患を対象とし、腫瘍溶解性ウイルスC-REVや、独自技術である高効率遺伝子導入技術レトロネクチン法、高効率リンパ球増殖技術であるレトロネクチン拡大培養法、siTCR[®]技術を使用した、遺伝子改変T細胞療法等の遺伝子治療の開発を進めております。

当第1四半期連結累計期間は、国内におけるNY-ESO-1・siTCR[®]遺伝子治療薬およびCD19・CAR遺伝子治療薬に関する共同開発・独占販売契約にかかる対価料の受領はありましたが、本契約にもとづく治験製品等の売上高が減少いたしました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は、1,903百万円(前年同期比98.6%)となり、売上総利益は、1,711百万円(前年同期比98.1%)となりました。しかしながら、販売費及び一般管理費が、研究開発費等の減少により242百万円(前年同期比80.3%)となったことで、営業利益は、1,468百万円(前年同期比101.8%)と増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、71,402百万円となり、前連結会計年度末に比べて362百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少2,316百万円や無形固定資産の減少231百万円があったものの、現金及び預金の増加2,756百万円があったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、6,248百万円となり、前連結会計年度末に比べて696百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少556百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、65,154百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,058百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加871百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,874百万円の収入となり、前年同期に比べて919百万円の収入増加となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加643百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、11百万円の収入となり、前年同期の支出から収入に転じ、2,543百万円の支出減少となりました。これは主に、定期預金の預入による支出の減少1,836百万円や有形・無形固定資産の取得による支出の減少382百万円があったことに加え、定期預金の払戻による収入の増加201百万円や有形・無形固定資産の売却による収入の増加99百万円があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、821百万円の支出となり、前年同期に比べて313百万円の支出増加となりました。これは主に、配当金の支払額が294百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、12,558百万円となり、前連結会計年度末より3,094百万円の増加となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、利益項目（営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益）は、計画を上回って推移しておりますが、現時点においては、2019年5月14日に公表した連結業績予想の見直しを行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,033	19,790
受取手形及び売掛金	8,604	6,288
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	4,523	4,536
仕掛品	706	997
原材料及び貯蔵品	1,506	1,658
その他	941	820
貸倒引当金	△41	△41
流動資産合計	35,275	36,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,775	11,588
減価償却累計額	△5,435	△5,266
建物及び構築物(純額)	6,340	6,322
機械装置及び運搬具	5,510	4,879
減価償却累計額	△3,745	△3,156
機械装置及び運搬具(純額)	1,764	1,723
工具、器具及び備品	6,890	6,938
減価償却累計額	△4,588	△4,756
工具、器具及び備品(純額)	2,302	2,181
土地	6,213	6,113
建設仮勘定	4,784	4,812
その他	15	698
減価償却累計額	△15	△38
その他(純額)	-	659
有形固定資産合計	21,404	21,812
無形固定資産		
のれん	7,598	7,479
その他	5,029	4,917
無形固定資産合計	12,628	12,396
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,732	1,143
投資その他の資産合計	1,732	1,143
固定資産合計	35,765	35,352
資産合計	71,040	71,402

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,536	980
未払法人税等	391	489
引当金	593	825
その他	3,495	2,911
流動負債合計	6,017	5,207
固定負債		
退職給付に係る負債	667	685
その他	260	355
固定負債合計	927	1,041
負債合計	6,945	6,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,965	14,965
資本剰余金	32,893	32,893
利益剰余金	15,401	16,272
株主資本合計	63,260	64,131
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	964	1,139
退職給付に係る調整累計額	△215	△208
その他の包括利益累計額合計	749	930
非支配株主持分	85	92
純資産合計	64,095	65,154
負債純資産合計	71,040	71,402

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	8,847	8,650
売上原価	3,491	2,734
売上総利益	5,355	5,916
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	986	1,000
退職給付費用	44	47
研究開発費	1,014	939
引当金繰入額	132	140
その他	1,632	1,537
販売費及び一般管理費合計	3,811	3,664
営業利益	1,544	2,251
営業外収益		
受取利息	18	22
不動産賃貸料	23	24
その他	8	14
営業外収益合計	49	62
営業外費用		
為替差損	23	96
不動産賃貸費用	5	6
その他	5	9
営業外費用合計	34	113
経常利益	1,559	2,200
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除売却損	10	6
投資有価証券売却損	-	2
特別損失合計	10	9
税金等調整前四半期純利益	1,548	2,191
法人税、住民税及び事業税	702	545
法人税等調整額	△188	49
法人税等合計	514	595
四半期純利益	1,034	1,596
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,032	1,591

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,034	1,596
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,533	176
退職給付に係る調整額	3	6
その他の包括利益合計	△1,530	182
四半期包括利益	△495	1,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△490	1,772
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,548	2,191
減価償却費	669	677
その他の償却額	48	23
のれん償却額	123	125
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△0
その他の引当金の増減額 (△は減少)	225	231
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	18
受取利息	△18	△22
固定資産除売却損益 (△は益)	10	6
売上債権の増減額 (△は増加)	1,903	2,328
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△818	△419
仕入債務の増減額 (△は減少)	△184	△565
その他	△167	△377
小計	3,353	4,217
利息及び配当金の受取額	8	10
法人税等の支払額	△407	△353
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,954	3,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,000	△163
定期預金の払戻による収入	333	535
有形及び無形固定資産の取得による支出	△829	△447
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	100
その他償却資産の取得による支出	△35	△11
その他	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,531	11
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△508	△803
リース債務の返済による支出	-	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△508	△821
現金及び現金同等物に係る換算差額	△364	30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△450	3,094
現金及び現金同等物の期首残高	10,051	9,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,601	12,558

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」(以下、「ASU第2014-09号」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。ASU第2014-09号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これにともない、約束した財またはサービスが顧客に移転された時点で、当該財またはサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社において、IFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これにともない、借り手は、原則としてすべてのリースについて、適用開始日に使用権資産およびリース債務を認識しております。また、従来「投資その他の資産」に含めて記載しておりました土地使用権を使用権資産に含めて記載しております。

この結果、有形固定資産の「その他(純額)」が644百万円、流動負債の「その他」が69百万円、固定負債の「その他」が79百万円それぞれ増加し、「投資その他の資産」が496百万円減少しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ			
売上高						
外部顧客への売上高	6,516	1,931	399	8,847	-	8,847
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	6,516	1,931	399	8,847	-	8,847
セグメント利益または 損失(△)	689	1,442	△45	2,086	△541	1,544

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△541百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	バイオ産業 支援	遺伝子 医療			
売上高					
外部顧客への売上高	6,746	1,903	8,650	-	8,650
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-
計	6,746	1,903	8,650	-	8,650
セグメント利益	1,331	1,468	2,800	△548	2,251

(注) 1. セグメント利益の調整額△548百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、報告セグメント「医食品バイオ」内の健康食品およびキノコにかかる両事業を譲渡したため、当第1四半期連結会計期間より、当該セグメントを廃止しております。

3. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移

① キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年6月30日	2020年3月期 第1四半期連結累計期間 自2019年4月1日 至2019年6月30日	2019年3月期 自2018年4月1日 至2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,954	3,874	5,783
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,531	11	△5,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	△508	△821	△541

② 地域別売上高

(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年6月30日	2020年3月期 第1四半期連結累計期間 自2019年4月1日 至2019年6月30日	2019年3月期 自2018年4月1日 至2019年3月31日
日本	4,248	3,937	16,101
米国	1,995	1,955	7,945
中国	1,307	1,427	6,227
日本・中国除くアジア	410	474	1,994
欧州	811	784	3,328
その他	73	72	244
合計	8,847	8,650	35,841

③ 報告セグメントごとの研究開発費

(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年6月30日	2020年3月期 第1四半期連結累計期間 自2019年4月1日 至2019年6月30日	2019年3月期 自2018年4月1日 至2019年3月31日
バイオ産業支援	670	676	2,723
遺伝子医療	298	223	1,391
全社共通	45	39	222
合計	1,014	939	4,337

(2) 連結比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	2019年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	2020年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
(売上高)				
研究用試薬	5,246	5,584	337	106.4%
理化学機器	517	274	△243	53.0%
受託サービス	630	781	151	124.1%
その他の	122	107	△15	87.6%
バイオ産業支援計	6,516	6,746	230	103.5%
遺伝子医療	1,931	1,903	△27	98.6%
その他(旧医食品バイオ)	399	-	△399	-
売上高計	8,847	8,650	△196	97.8%
(営業損益)				
売上高	8,847	8,650	△196	97.8%
売上原価	3,491	2,734	△757	78.3%
売上総利益	5,355	5,916	560	110.5%
販売費一般管理費	3,811	3,664	△146	96.2%
運送費	158	89	△68	56.8%
宣伝費	16	17	1	110.8%
促進費	164	136	△27	83.2%
研究開発費	1,014	939	△75	92.6%
管理費、その他	2,365	2,399	33	101.4%
事業税(外形基準)	92	81	△10	88.5%
営業利益	1,544	2,251	707	145.8%
(営業外損益)				
営業外収益	49	62	12	125.3%
営業外費用	34	113	78	324.6%
経常利益	1,559	2,200	641	141.1%
(特別損益)				
特別利益	-	0	0	-
特別損失	10	9	△1	85.7%
税金等調整前四半期純利益	1,548	2,191	643	141.6%
法人税等	514	595	81	115.9%
四半期純利益	1,034	1,596	561	154.3%
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	4	2	222.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,032	1,591	559	154.2%
減価償却費(有形・無形)	669	677	7	101.2%
のれん償却額	123	125	2	101.8%

セグメント別損益(営業利益)

	2019年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	2020年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
バイオ産業支援	689	1,331	642	193.2%
遺伝子医療	1,442	1,468	26	101.8%
その他(旧医食品バイオ)	△45	-	45	-
全社(共通)	△541	△548	△7	-
計	1,544	2,251	707	145.8%